



夢を力に



No. 1 令和元年 5月11日発行

「共に支え合う地域社会をめざして」

校長 山崎 勝之

春です

菜の花や桜に囲まれ、すべてのものが、明るく、美しく輝くなか、新年度を迎えることができました。この4月から、本校の校長を拝命した山崎勝之（やまざき まさゆき）です。よろしくお願いいたします。

特別支援教育に携わる私たちのミッションは、「大切な子どもの命に丁寧に磨きをかける」こと、そして障害のあるなしにかかわらず「共に支え合って生きる地域社会の実現を図る」ことです。

障害があるからこそ

障害があるから「できない」ではなく、障害があるからこそ「気付く」「感じ取れる」「できる」ことがたくさんあります。子どもたちと身近に接していると、「とてもかなわないな」、と自分が恥ずかしくなることがあります。

つい先日もそんな出来事がありました。

訪問教育の入学式のことです。開式が迫り会場の緊張感が最高潮に達したまさにその時、ひとりの入学生が大声で笑い始めました。それはそれは大きく、長く続く笑い声でした。この小さな身体のどこから出るのか、と不思議に思うくらい、おおらかで明るく、天まで届くような声。その笑い声は、会場にいた全ての人を温かく幸せな気分にしてくれました。しかし、さすがは高等部一年生。式が始まるとその雰囲気や敏感に感じ取り、落ち着いた表情を取り戻しました。穏やかで温かなこの日の入学式は、皆の心にしっかりと刻まれたことでしょう。

入学式直前に大笑いしようものなら司会者から注意を受けそうなものですが、彼女の笑い声を聴いて不快に思った人は一人もいません。まさに彼女だけがもつ、かけがえのない笑い声の力。誰にもまねできない、オンリーワンの力です。

子どもたちのメッセージを皆様に

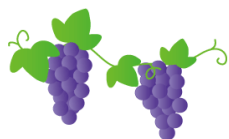
皆様、ぜひ一度、いや二度でも三度でも中央特別支援学校にお越しください。子どもたちと静かに向き合い、その動きや息づかいにじっと心を寄せて、目を凝らし、耳を傾けていると、皆さんの身体の奥の方に何とも言えない温かく大切なメッセージが届くはずですよ。

最後になりましたが、保護者、地域、関係機関の皆様方には、子どもたちの成長を見守り、支える本校の応援団として、今後とも力強い後押しをよろしくお願い申し上げます。



年間行事予定

<p>< 5月 > 24(金) 高等部チャレンジ大会</p> <p>< 6月 > 1(土) 中学部体育祭 (3(月)代休) 8(土) 小学部運動会 (10(月)代休) 14(金) きらら学級きららカップ 28(金) 非常食給食、引き渡し訓練</p> <p>< 7月 > 25(木) 1学期終業式</p> <p>< 8月 > 28(水) 2学期始業式</p> <p>< 9月 > 28(土) P T A秋祭り</p> <p>< 10月 > 11(金)～12(土)小学部修学旅行 (15(火)代休) 15(火) わかくさ病棟秋祭り 18(金)～19(土)中学部修学旅行 (21(月)代休) 25(金)～26(土)そよかぜ学級中学部修学旅行 (28(月)代休) 27(日)～29(火)高等部修学旅行 (30(水)代休)</p>	<p>< 11月 > 13(水) 大輪祭きらめきの日 16(土) 大輪祭ふれあいの日(18(月)代休)</p> <p>< 12月 > 25(水) 2学期終業式</p> <p>< 1月 > 7(火) 3学期始業式</p> <p>< 2月 > 13(木) 高等部入学選考試験</p> <p>< 3月 > 6(金) 高等部卒業式 17(火) 小学部、中学部卒業式 18(水) そよかぜ学級卒業式 19(木) 修了式 27(金) 離任式</p>
--	--



「出会い」

教頭 本杉 和美

この4月に本校に赴任いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私が初めて本校を訪れたのは、小学3年生の時でした。今から、数十年前のこととなります。その当時の担任の先生が、本校に勤務していた経験があり、クラスメイト数人を運動会に連れて来てくれたのです。

今でも鮮明に覚えていることが2つあります。ひとつは、今と同じ、昇降口近くのスロープです。自分が通っていた小学校にはスロープがないので、印象に残ったのだと思います。もうひとつは、徒競走の様子です。車椅子や歩行器等で、みんな一生懸命ゴールをめざしていました。一緒に訪れたクラスメイトと、思わず、「がんばれ〜！」と応援した覚えがあります。

学校間交流や居住地校交流がまだ盛んではなかった時代、この日の貴重な「出会い」によって、私は特別支援学校の教員をめざすことになりました。交流籍を活用した「交流及び共同学習」が全県実施となる今年度、私の原点とも言うべき本校に赴任することができたのも運命かなと思っています。

私は、たった一度の交流という形でしたが、継続したふれ合いや教育活動を行うことによってお互いの理解はさらに深まると思います。本校の子どもたちが今年度もたくさんの人たちと出会い、自立や社会参加につながる一步を踏み出せることを心から願っています。